

H-TEC

Honda Technical College kansai

TIMES

学校法人ホンダ学園 ホンダ テクニカル カレッジ 関西

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
TEL:072-366-9011 FAX:072-360-2230発行責任者
校長 滝澤 信彦ホームページ・ケータイ サイト
http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/QRコード対応
ケータイで
簡単アクセス!

新校舎 4号館完成



外壁・屋上には太陽光発電設備44.5Kwを設置



4号館 2F 2輪専用実習室



4号館 3F 大教室



4号館 1F 実習室



4号館 1F ものづくりエリア

3月8日(火)、4号館新築工事が完了しました。

4号館は、環境に対応した省エネ建築物で、太陽光発電・人感センサー照明(LE D)、コージエネ空調等が採用されています。

又、校舎内は自動車研究開発科の専用実習場や二輪専用実習場等も完備し、今まで以上に充実した設備の下、新学期を迎えました。

EVENT

校外オリエンテーション



新しく知り合ったクラスメイトと長縄跳び



挨拶の仕方や礼の練習をしました

4月7日(木)、8日(金)の2日間、新入生を対象に大阪府立青少年海洋センターで校外オリエンテーションを実施しました。

新入生の皆さんは、このオリエンテーションで「人に愛され信頼される技術者」を目指す仲間同士で確実に絆を深めると共に、育成方針である「マナーとマインドを磨く」を基にして、社会人として役立つ挨拶、言葉使いなどを学びました。

カリキュラムとしては、海洋実習(カッター)や長縄跳びなどの共同作業を体験。また、グループ討議では、「自動車業界で生きていく為に必要な事は何か」をテーマとして、全員で意見を出し合い、それを模造紙にまとめ発表会を行いました。

夕食の頃には全員が打ち解け合えた仲間と共に、バーベキューを食べながらこれからの学園生活を有意義なものにしていくと会話が盛り上がりました。

滝澤校長による入学式式辞「建学の精神」、「育成方針」
目標を持ってチャレンジすることの大切さを語る(写真)

エンジニアに意欲を燃やす266名の新入生が入学(写真右)

誓いの言葉
(新入生代表 自動車整備科 上村 陽樹君)

入学式式辞

校長 滝澤 信彦

当学園は、皆さんもご存じのように本田技研工業の創設者である本田宗一郎が、本心に優れた自動車整備はどうかあるべきかという確固たる信念を持ち、その信念と理想を実現すべくこの学校を設立しました。

その建学の精神は「一人に愛され信頼される技術者の育成を通じて、社会に貢献する」です。これを基に「社会に在って人に愛されるマナーとマインドを磨く」、「時代の変化を敏感に捉え、実践第

の技術力を学ぶ」、「企業市民の誇らしい員として、社会活動への理解と行動力を育む」という3つの育成方針を定め、皆さんにこの学園で学んで頂きます。

皆さんは、好きでこの世界に飛び込んできたはずで、「整備士になりたい」、「自動車を設計したい」、「本田技研工業に入りたい」等いろんな夢を持つこの場にいます。まだ持っていない人もいるかもしれませんが、まずは、夏休みまでにこうなりたい、こうしたいという目標を決めてください。目標を持って自分が何

をしたいかをハッキリさせることによって、学校も、勉強も面白くなってくるからです。

また学園では様々な事にチャレンジして頂きたいと思っています。失敗こそが成長の肥やしと言えます。今までやったことがない事でも、どんどんチャレンジしてください。私たちは「自ら学び取る」、「チャレンジする」この2つをベースに、学園で自ら行動する事を求めています。

思い切り学園生活をエンジョイし、振り返った時に達成感を味わうことが出来れば、これに勝る喜びはないと思います。(要約)

4月4日(月)、大阪狭山市SAYAKAホールにて、ホンダテクニカルカレッジ関西の入学式を執り行いました。今年度の新入生は266名(自動車整備科200名、二級自動車整備研究科51名、自動車研究開発科15名)で、エンジニアに意欲を燃やす若者たちが各地から集まりました。新入生のみならずには何事にも積極的にチャレンジして、新しく始まる学園生活を爽やかにしたいと思っています。

入学生数

自動車整備科	200名
一級自動車整備研究科	51名
自動車研究開発科	15名
総 数	266名

国家試験 結果速報

全員合格達成!

(二級自動車整備士)

●国家二級自動車整備士 登録試験 (233名中233名 合格)

●国家一級小型自動車整備士 登録筆記試験 (38名中23名 合格)